

【プレスリリース】

インドに対する円借款に関する書簡の交換について

1. 2015年5月15日、インドの首都ニューデリーにおいて、八木毅駐インド日本国特命全権大使と先方エス・セルヴァクマール財務省経済局局長との間で、総額217億8,700万円を限度とする円借款「オディシャ州送電網整備計画」に関する書簡の交換が行われました。

2. 対象案件の概要

インドでは、近年の急速な経済成長に伴い、エネルギー消費の増加が続く一方、供給能力は需要の拡大に追いついておらず、さらに、送配電ロス率も高い状況となっています。特に、インド東部のオディシャ州では産業化が急速に進んでおり、今後、大幅な電力需要の増加が予想されています。

この計画は、オディシャ州全域において、送電線及び変電所設備の整備等を実施するものです。これにより、同州の電力システムの安定化、送電ロス率の低減及び電力の安定供給の達成を図り、同州及びインド東部地域の経済発展に寄与することが期待されます。

3. なお、本案件は、我が国が2013年11月に策定した攻めの地球温暖化外交戦略「Actions for Cool Earth: ACE」の中で表明した、2013年から2015年までの3年間にわたる気候変動分野の途上国支援策の一環として実施するものです。我が国としては、全ての国による公平かつ実効性のある国際枠組みの構築に向け、インドと引き続き気候変動分野で連携していきます。

